

平成 26 年 12 月 24 日
日本技術士会原子力・放射線部会
担当：桑江良明

「第 43 回技術士の夕べ」(H27. 1. 16 開催)
「安全文化に関する講演と意見交換」

【開催趣旨】

原子力・放射線部会では、設立 10 周年を迎えるにあたり今後 10 年に向けた「活動方針」を制定し、その大きな柱の一つとして、「安全文化醸成に資する活動」を挙げました。

しかしながら部会員一人一人の「安全文化」に対する理解や認識は不揃いであるため、今年度下期は、まずは、我われ自身が「安全文化」、「技術者倫理」について学び直す準備期間と位置づけています（「平成 26 年度下期以降の活動計画」参照）。

本企画は、上記趣旨に沿った「第一弾」として実施するものです。

講演では、原子力安全推進協会の浜田潤氏より、「原子力界における安全文化醸成（活動）の状況」について、経緯と今後も含めお話していただきます。

引き続き、講演内容を踏まえたうえで、技術士法上「公益確保」と「資質向上」が責務として求められ、「職業倫理」を有するとされる技術士が組織の中で、あるいは組織の垣根を越えて、何をすべきか、何ができるかという観点で、講師を交え、参加者による意見交換を行います。

【次 第】

- | | | |
|---------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 1. 開催趣旨説明 | 原子力・放射線部会 桑江良明 | 5 分 |
| 2. 講演 | | 60 分 |
| (1) 演 題：「原子力界における安全文化醸成（活動）の状況」 | | |
| (2) 講 師：(一般社団法人)原子力安全推進協会プラント運営支援部
安全文化グループ グループリーダー 浜田 潤氏 | | |
| 3. 意見交換 | | 55 分 |
| (1) 事前に出された意見、および過去の「安全文化」・「技術者倫理」に関する意見交換の概要紹介 (10 分) | | |
| (2) 参加者による意見交換 (45 分) | | |

有意義な意見交換になるよう次頁に「関連資料」を提示します。全てでなくても、ご関心のある箇所に通していただき、「安全文化と技術者倫理との関係」、「組織の中の技術士の役割」等、ご自身なりの問題意識をお持ちになって講演および意見交換に参加して頂けたら幸いです。

以上